

(1) 教育・保育の平成27年度実施状況と今後の取組について

〔教育・保育の実施状況〕

平成28年3月1日現在の教育・保育の実施状況について、子ども・子育て支援事業支援計画と比較し、点検、評価します。

①需要から見た計画と実際の比較

約半数の市町において、実際の需要が計画の量の見込み（需要）を上回っています。

これは、新制度において保育の必要性の要件が緩和された（120時間以下の就労、求職活動等）ことに伴い、申込児童数が増加したことなどによると考えられます。

	実際の需要 (人数) / 計画の需要 (人数)	実際の需要が計画の需要を 下回っている市町数 (実際の需要<計画の需要)	実際の需要が計画の需要を 上回っている市町数 (実際の需要≥計画の需要)
		計	計
1号認定	104.0%	15	14
2号認定	98.9%	16	13
3号認定 0歳	96.4%	15	14
3号認定 1～2歳	99.4%	13	16

②確保から見た計画と実際の比較

施設整備については、概ね計画どおり実施されており、確保できていない市町については、利用定員が計画どおり設定できなかったことが考えられます。

3号認定0歳においては、地域型保育事業などが計画どおり進まなかったことが考えられます。

	実際の確保 (人数) / 計画の確保 (人数)	計画どおり確保できている 市町数 (計画の確保≤実際の確保)	計画どおり確保できていない 市町数 (計画の確保>実際の確保)
		計	計
1号認定	105.6%	25	4
2号認定	101.6%	16	13
3号認定 0歳	98.8%	21	8
3号認定 1～2歳	101.8%	19	10

[平成 28 年 4 月 1 日待機児童の発生状況]

平成 28 年 4 月 1 日の県内保育所の待機児童数については、101 人となり、昨年に比べて 3 人増加しています。

県全体では、保育所や地域型保育の整備等により、定員を昨年度に比べ 218 人を増やすことができましたが、待機児童の発生した市では、定員を超える申込があり、必要とする地域に保育室スペースや保育士が確保できなかったことから、4 市において待機児童が発生したと考えられます。

待機児童数推移

	H26. 4. 1	H26. 10. 1	H27. 4. 1	H27. 10. 1	H28. 4. 1
津市	0	98	0	92	0
四日市市	7	55	59	124	64
松阪市	0	54	0	40	0
鈴鹿市	0	0	9	0	0
名張市	27	100	8	114	29
尾鷲市	2	8	0	2	0
亀山市	5	9	9	19	6
熊野市	0	2	0	2	2
いなべ市	0	3	0	1	0
志摩市	0	1	0	0	0
伊賀市	6	8	0	3	0
菰野町	0	3	0	4	0
明和町	1	11	13	6	0
度会町	0	10	0	5	0
合計	48	362	98	412	101

なお、待機児童が発生した 4 市の今後の対応については次のとおりです。

・ 四日市市

更に、地域型保育事業の認可を行い、保育の受け皿を拡大します。私立保育園においても、小規模保育の実施を視野に入れていきます。

・ 名張市

小規模保育の整備により、待機児童を解消していきます。また、認可保育所についても拡充を検討していきます。

・ 亀山市

昨年 5 月に小規模保育を新設したところですが、低年齢児に対応できる小規模保育を増やしていきます。

・ 熊野市

既存施設の増築による定員数の増加を検討しています。

県は、待機児童解消に向けて、保育所等整備のための財政支援や、潜在保育士の職場復帰支援や保育修学資金等貸付制度など保育士確保の取組を進めるとともに、低年齢児保育の保育士加配を支援しています。

【参考】

平成27年度保育所整備状況

津市	1施設	50名増
四日市市	1施設	定員の増はなし
伊勢市	1施設	定員の増はなし
松阪市	1施設	40名増
桑名市	1施設	30名増
名張市	3施設	70名増
明和町	1施設	25名増
多気町	1施設	60名増
計	10施設	275名増

平成27年度地域型保育事業開始状況

津市	1事業	50名増
四日市市	7事業	91名増
名張市	3事業	50名増
亀山市	1事業	15名増
計	12事業	206名増